猪突猛進するチガヤの地下茎（金井弘夫）
Hiroo KANAI: *Imperata cylindrica* (L.) Beauv. (Gramineae) with Piercing Rhizome

東京都小金井市で2000年7月，チガヤの地下茎がドクダミの地下茎を貫通しているのを見つけた（Figs. 1A, B）．チガヤの地下茎は先端が硬く鋭くとがり，ちょうど昔のレコード針のような形をしている（Fig. 1D）．ドクダミとチガヤの地下茎は，ほぼ同じ 3–5 cm の深さに共存しており，太さは共に 2–3 mm である．チガヤはドクダミにぶつかると，避けずにそのまま突き刺さって抜けて行くようだ．ドクダミの方はそこに割れ目ができるだけで，壊死したり癒合したり癒傷組織ができたりすることもなく，貫通された影響を受けずに生活している．同じ深さにヤブカラシの地下茎も走っているが，これは太く柔らかいものだから，あちこちで貫通されている（Fig. 1C）．これまた貫通された影響は見られない．貫通するのはいつもチガヤの方で，ドクダミやヤブカラシはそういう行動をとらない．チガヤがチガヤを貫いているケースも，同じくらいの頻度で見られる（Fig. 1D）．こ

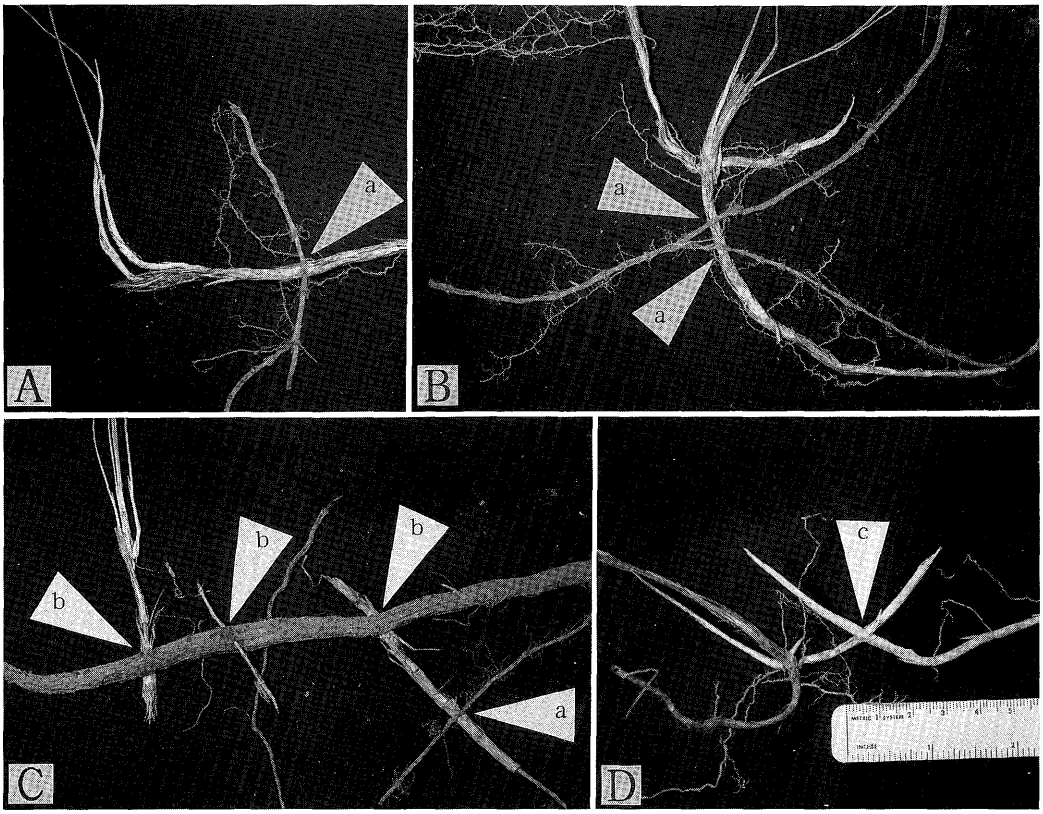

Fig. 1. A, B. チガヤに貫通されたドクダミの地下茎 (a). Rhizome of *Houttuynia cordata* pierced by *Imperata cylindrica* (a). C. 3ヶ所でチガヤに貫通されたヤブカラシの地下茎 (b). チガヤは更にドクダミも貫通している (a). Rhizome of *Cayratia japonica* pierced by those of *Imperata cylindrica* at three points (b). *Imperata* also pierces *Houttuynia cordata* (a). D. チガヤの地下茎同士の貫通 (c). Rhizomes of *Imperata cylindrica* piercing each other (c).

の場合にも癒合は見られない．こういう出来ごとは珍しいものではなく，約1m四方で10件ほど見つけた．前記のとおり，接触した二種の間に交互作用はないようだ．スギナも同じ所に生えているが，地下茎がやや深い位置にあることと，太さが1mmと細すぎて，相手にならないらしい．アズマネザサは，地下茎の位置が15–20cmと深いので，チガヤと出会うことはなさそうである．それにアズマネザサの地下茎は非常に硬いので，チガヤといえども避けて通るだろう．

Rhizomes of *Imperata cylindrica* are found piercing those of *Houttuynia cordata* (Figs. 1A, B), *Cayratia japonica* (Fig. 1C) and even itself (Fig. 1D) without any vital effect.

（184-[redacted]小金井市[redacted]
TEL/FAX[redacted]）

おしば標本貼り付け用ヒートシールテープの自作法（2）（金井弘夫）

Hiroo KANAI: How to Make Heat-Seal Tape for Mounting Herbarium Specimen (2)

さきに金井（1998）でこれについて発表したが，その後もう少し容易な自作法があることを知ったので，機材を含めて再び発表しておく．

テープの原紙は前報の如く，工場出荷の大形ロール，あるいはカット業者（スリッター）の裁断余りを入手する方法のほかに，複写印刷機リソグラフのマスターステンシルが利用できる．これもラミネート紙で，交換時に幅30cm長さ90cmほどの端切れが必ず残るので，大量消費しない限りこれで間に合うだろう．マスターステンシルのロール（約100m）を買ったとしても，上記ジャピロンPCの工場出荷ロールよりもずっと手頃である．ただし前報のジャピロンPC5-1415より薄い．いずれにせよ適当な長さに切り出した原紙を折り畳んで（Fig. 1A），使用済みの大型封筒に入れて裁断する（Fig. 1B）．封筒は紙質が薄い方がよい．

裁断には，事務機として売られているディスクカッターが適当である（Fig. 1C）．ディスクカッターは，紙をレールで抑え，円盤状の薄い刃をレールに沿って滑らせて裁断する道具で，コピー紙なら10枚程度を切る能力がある．従来の写真用カッターよりも紙のズレが起こりにくいうえ，薄紙でも切れるので，封筒に入れたままのラミネート紙を，5mm幅はおろか2–3mm幅にも切ることができる（Fig. 1D）．封筒のまま切るわけは，紙送りのとき用紙がバラけるのを防ぐためである．紙送りは手でやることになるので，テープの幅は正確には揃わないが，標本貼りに不都合はあるまい．原紙は長い方がよさそうに思えるが，あまり長いと折り畳んだとき厚くなって，テープに切る作業がやりにくくなるし，できたテープがもつれる心配がある．

ヒートシールに使うハンダ鏝は前報のとおり，ラジオ用の先端（直径5mm）をいったん引き抜いて，平たく加工すればよい（Fig. 1E）．これはガスこんろとペンチと金槌があればできる．電流調節には，ハンダ鏝専用の小形コントローラーがある．私が購入したものは太洋電機産業製のパワーコントローラーPC-10（200W用）である（Fig. 1F）．電灯用の調光器でもよい．これらはサイリスタ式のもので，最近は小形化したうえ安価になった．ラミントンで使われている接触抵抗式のコントローラーは，いつも同じつまみ位置を使うため，接触不良になって発熱することがある．サイリスタ式にはその心配はないが，許容量より消費電力の大きい器具を使うと破壊される．またPC-10の場合には電源スイッチがついていないため，使用後はプラグから外しておかないと，常時電力を消費してしまうので注意せねばならない．電流調節はこういう出来合いのものがなければ，光量切り換えスイッチつきの電気スタンドを利用すればよい．

ジャピロンPC5-1415はラミントンテープ